

BOOK NEWS

2021 ①月号

『人気マンガ・アニメのトラウマ最終回』



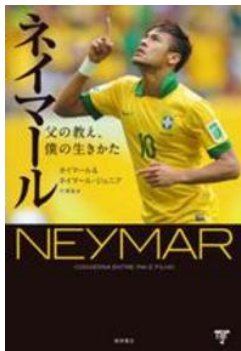
発行者 稲村 貴 出版 鉄人社
本書は、かつて読んだマンガやアニメ、ドラマ、ゲームなどの最終回から、わたしたちの心に大きな傷を残した作品や、あまりの酷さで逆に心に残ったものだけを年代別にまとめたものです。

『夜は短し歩けよ乙女』



著者 森見 登美彦 出版 KADOKAWA
「黒髪の乙女」にひそかに想いを寄せる「先輩」は、夜の先斗町に、大学の学園祭に、彼女の姿を追い求めた。そんな2人を待ち受けるのは、個性溢れる曲者たちと珍事件の数々だった。キュートでポップな恋愛ファンタジーの傑作。

『ネイマール』



著者 ネイマール 出版 徳間書店
父は息子のためにすべてを捧げ、息子は父の信頼に全身で応えた一フラジルの至宝、22年の軌跡。初公開！「秘蔵ショット」カラー32ページ付き。



『星やどりの声』

著者 朝井 リョウ 出版 KADOKAWA
海に見える町で、喫茶店を営む早坂家。亡き父が残した名物のビーフシチューの香りに包まれた生活には、慎ましやかながらも確かな幸せがあった。しかし、常連客の爺が店に姿を見せなくなった頃から、家族に少しずつ変化が。各々が葛藤を抱え息苦しくなる早坂家に、父が仕掛けた奇跡が降りそそぐとき、一家は家族を卒業する。感動の物語。



『そして生活はつづく』

著者 星野 源 出版 文春文庫
携帯電話の料金を払い忘れても、部屋が荒れ放題でも、人付き合いが苦手でも、誰にでも朝日は昇り、何があっても生活はつづいていく。ならば、そんな素晴らしくない日常を、つまらない生活をもしろがろう。音楽家で俳優の星野源、初めてのエッセイ集。

『時代劇をみるのがおもしろくなる本』



出版 扶桑社
弱きを助け強きをくじく物語は、私たちを楽しませてくれている。その、おもしろさが、物語に登場する人物や風景である。脇役の代官や鳥追い女たちに注目してほしい。本書は、時代劇の登場人物の生活や時代背景など、実際はどういうものだったのかを検証するものである。